



# A charming volunteer!

活発に活動をされている魅力的なボランティアを紹介しています。今回は矢掛町で活躍されているボランティアです!



聞こえにくい方に書いて伝えるボランティア  
やかげ要約筆記サークル

津尾 恵子 さん

パレットメモ



- 今は、国体の後に開かれる第5回全国障害者スポーツ大会の専門ボランティアとして参加するので勉強中です。
- ★聞こえにくい方ご遠慮なくご利用ください(無料)
- ★一緒にボランティアをしてみませんか!
- お問い合わせ先: 矢掛町社会福祉協議会  
TEL 0866-82-0848

## 津尾さんの体験 1

### ボランティアを始めたきっかけは?

12年前、矢掛町の難聴者の人たちが、役場に「是非要約筆記者を！」とお願いして要約筆記講座が開かれました。当時私は、要約筆記の言葉さえ知らずに受講し、初めて難聴者にとっての必要や願いを知り、お役に立つことができればと思いサークルを立ち上げました。

今、矢掛町だけでなく、全国的に高齢者が増えているので、聞こえにくい方も多くなっています。一人でも多くの方、養成講座を受けて一緒に活動してみませんか。



門前の小僧で、時には私も作句に挑戦!

### 『要約筆記』って何ですか?

聴覚障害者といえませんが「手話」という人がありますが、高齢者の中には、手話が出来ない人や分からない人がおられます。その人に要約筆記者が音や相手の言葉をその場で書いて伝えることです。会議や話し合いの場などで取り残されることのないよう、社会参加できるようにお手伝いすることです。



健康と福祉のつどいに参加しました。

7

## 津尾さんの体験 2

### どんな活動をするのですか?

会員15名で活動しています!

- 耳の聞こえない人が複数の場合……OHPやパソコンを使ってスクリーンに写し出す
- 少数の場合………付き添って書く
- その他、啓発活動として学校へ出前福祉講座や夏のボランティア活動へ参加。会報「ひびき」を発行

- 1) 寿大学(年10回)
- 2) 矢掛町身体障害者福祉協会総会
- 3) 各種講演会(環境・人権 関係など)
- 4) 川柳講座(年13回)
- 5) 老人福祉施設句会(年12回)
- 6) 町民文化講座(年3回)
- 7) 難聴者 交流会
  - 他市町村の難聴者一大名行列のときなど
  - 中・高校とのふれあい会
- 8) 病院・役場・学校などの付き添い



2004夏のボランティア体験に来られた学生さんです。



中学生と難聴者のふれあいの一場面です。



老人福祉施設で句会に参加しました。

## Part 14



### 活動メンバーから一言! ~幸せ二つ~



田尻文子さん

「田尻さんボランティアをしておよかったことを書いて。」と言われ、はたと考えてみた。いろんな事が頭にうかんできたが、その時ふと思った。もし私がボランティアをしていなかったら、私はどんな人間になっていたのだろうか、と。

要約筆記ボランティアは周りの人からみると随分難しく思われているらしい。確かに技術的な未熟さ、精神的な弱さを克服するのに5年くらいはかかったように思うし、10年を過ぎた今でも、ハラハラドキドキの連続である。

それでも、こんな私を頼りにして待っていてくれる人がいる——その“幸せ”、また同じ気持ちで頑張っている仲間がすぐそばにいてくれる——その“幸せ”を思うとき、私はいつも『心をこめてさせていただきます』と自分に言い聞かせている。

“ボランティアは時間があるからするのではない、意味があるからするのだ”とどこかで読んだ気がする。